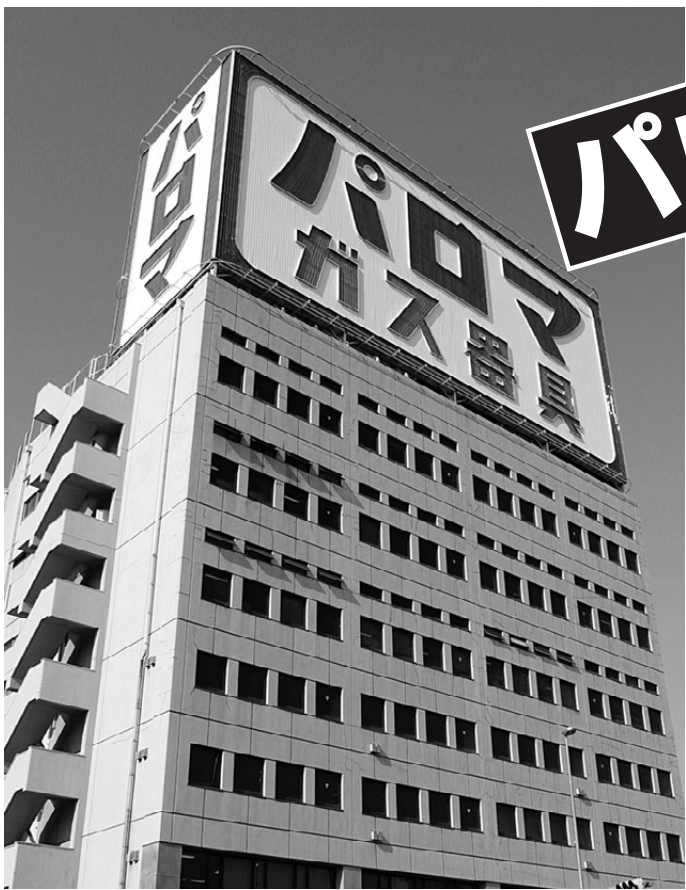




愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3 F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.airoren.gr.jp>
発行人 樽 松 佐 一
第158号 2006年 9 月10日

安全・安心の 公共サービスシンポ

とき 10月15日(日) 13:30から
ところ 名証ホール(名古屋証券取引所内)
※地下鉄栄駅8番出口より徒歩2分



パート・バイトに 不祥事のツケ

ガス中毒による死亡事故を20年間も隠蔽してきたパロマ工業が、8月10日、東海3県で約100人ものパート・アルバイトに解雇を通告しました。愛労連はただちに解雇撤回を申し入れると同時に岐阜・三重労連によびかけて22日、23日にパロマ労働相談を行いました。全労連も8月23日に申し入れ、今月7日には生協労連・パート部会・愛労連・パート臨時労組連絡会が「パートだからと簡単にクビ」を切るパロマに「パートの泣き寝入りを許すな」と要請行動を行いました。

パートの首切り許すな 臨連・生協労連・パート部会も申し入れ

違法と不法の実態
まぎまぎ

社員にはボーナス・パートは解雇

8月17日、愛労連の要請をテレビや新聞各社が大きく報道。その後、5道府県の方から情報や相談が寄せられました。それによれば8月10日の解雇通告以外にも、8月中に解雇を通告されると言われたり、「その場で呼ばれて3日後に解雇。手当もない」、「8月末まで休むように言われたが賃金はゼロ」などの違法行為が伝わってきました。解雇された方は「怒りでいっぱい」とテレビの取材にに応じていました。

パロマの小林社長は8月3日、全社員に「冬のボーナスを全額支給する」との文書を出しました。その一方でパート・バイトには解雇を通告。愛労連の要請に対して愛知労働局は「正社員に高額なボーナスを支給しながらパートを解雇したり、パートだけを選り抜いて解雇するのは整理解雇4要件を満たさないと判断される可能性が高い」と応えています。愛労連は全労連と共に再度要請を行いました。パロマはこの不法行為

を改めようとしません。

「パートはいつでもクビにできる」

4工場以外のパートにも「9月末までにやめる人には1ヶ月分の給料を上乗せする」と説明。パートからはブーイングの音が上がりましたが、半分弱がやめることを考えています。その工場では数年前にもパートをクビにし、「パートはいつでもクビにできる」のが当たり前になっていたようです。総務部は「不安になって

同族支配と無責任体質 労働組合の役割発揮を

「個人責任」追及が「無責任」体質に
社員からも声が届いてい

ます。「大きな会社なのに退職者が非常に多い」「管理職でも上に文句を言ったら簡単にとばされる」「社長が

直々に職場にきて、その場で責任を問われ、辞めていった人もいます。こんな状況が長く続くなかで「命令されたことしかしない、できない」という企業風土が定着しています。

また個人責任が徹底的に追及され、従業員とおしで責任を押しつけあうこともしばしばといます。死亡事故についてパロマは当初「改造された製品はすでにわが社の製品ではない」と言っていました。ある社員は「まさにパロマらしいと



愛労連のパロマ申し入れ (8/17)



全労連のパロマ申し入れ (8/23)



パロマ大口工場での宣伝 (8/29)

パートだって従業員

愛労連のブログ「パロマ110」に寄せられた声より
<http://rodol110.cocolog-nifty.com/paloma/>

お盆休み前の昼休みに工場長から「減産の為パート・アルバイトの解雇をします。アルバイトは9月15日まで、金銭条件は無し。パートは本社の総務が来てから1ヶ月後の解雇。1ヶ月分の給料の上乗せ」と話しがありました。

減産させたのは社長の記者会見の為なのにそのツケがなんで？私達？。パート、アルバイトだってパロマの「従業員」。汗、油まみれ、涙を流しながら短い時間だけ「必死」に働いてるのに！「悔しくて溜まりません」。

「思った」と言っています。労働組合の姿が見えない

20年にわたって死亡事故が隠蔽されてきた背景には「モノが言えない」企業体質があります。消費者が安心して利用するためにはこの体質を変えることが必要です。社長も会長も監査役も親子という同族企業のなかで、これができるのは労働組合ですが、残念ながらいまパロマ労組のとりくみは見えてきません。パロマの労働者が、同族支配を打ち破り、一日も早く会社の信用を取り戻すことが求められています。

くらゐ

「中央が『紙と鉛筆の行政』であるなら、地方政治は『汗と涙の行政』だ」と愛知県知事選挙に立候補を表明している、とある現職市長が語ったとされている(中日・9/5)。私などは思わず、「うまい」とうなってしまう。▼連想ゲームのように、一つの言葉からその人なりのイメージをふくらませる。例えば、中央は霞ヶ関、国は官僚ときて、現場で働く国家公務員も知らぬ中央官僚が「紙と鉛筆」で地方無視の数字なふりをしている。方や、地方は、住民の顔が見え、「住民の声に耳を傾け、住民の気持ちにより添った行政」をめざし、中央の冷たい行政とたたかって「汗と涙」を流しているところ、市長は、「今やローカルが大切だ」と地方政治への思いを語った、と中日はつなぐ。市長は「両方必要だ」と言っているのに、アナタは勝手に「中央は悪、地方は善」として、何か市長に「期待」してしまう。なにやら、小泉のワンフレーズ、対立構図を思い出しませんか。「官は悪で民は善」を無条件の前提として繰り返す「官から民へ」を▼小泉流に染め上げられた脳で「おかしい」と気づき出すのに、5年間もの歳月と尊い犠牲が払われた。官がすべて悪で民がすべて善でないことは明らかでしたのに。マスコミに踊らされない冴えた頭脳を！(福)



9月8日の抗議登山に参加した人たち（山頂のヘリパッド横にて）

渥美半島の最高峰、越戸大山（328m）にある陸上自衛隊航空学校のヘリ訓練場での初の離着陸訓練が

9月7日に行われることが9月5日の田原市議会でも明らかになりました。これに対し、8月18日に

大山でのヘリ訓練はやめろ 反対する会が抗議の登山

結果されたばかりの大山自衛隊ヘリ訓練に反対する会では緊急の抗議登山をよびかけて、大山山頂にあるヘリパッドへの登山を行いました。7日は朝から雨が降り続きこの日の訓練は中止され翌日に延期。翌8日は曇天のため抗議登山を決行しましたが、午前9時または午後2時に予定された訓練も視界不良のため今回の訓練計画はすべて中止となりました。



名古屋市との交渉

名地連は、市内の労働者・市民の地域要求に基づいて、8月23日に名古屋市中の司会で交渉に入りました。当日は、愛労連や各地域労連、市民団体などから19名が参加。名地連の竹内議長、河合事務局長の挨拶の後、河合事務局長の司会で交渉に入りました。交渉は時間的な制約もあり、充分に突っ込んだやりとりまでは行かなかったものの、重点8項目についての名地連と市民団体の問題意識と名古屋市の考え方が明瞭となる内容となりました。名地連では、今後地域労連の協力を得ながら、要求の実現へ対市交渉の積み上げと地域運動を持続的に展開していくことにしています。

名地連では、市内の労働者・市民の地域要求に基づいて、8月23日に名古屋市中の司会で交渉に入りました。当日は、愛労連や各地域労連、市民団体などから19名が参加。名地連の竹内議長、河合事務局長の挨拶の後、河合事務局長の司会で交渉に入りました。交渉は時間的な制約もあり、充分に突っ込んだやりとりまでは行かなかったものの、重点8項目についての名地連と市民団体の問題意識と名古屋市の考え方が明瞭となる内容となりました。名地連では、今後地域労連の協力を得ながら、要求の実現へ対市交渉の積み上げと地域運動を持続的に展開していくことにしています。

地域の要求を束ねて 名地連が名古屋市と交渉

新聞報道によれば、航空自衛隊小牧基地に配備が予定されている空中・給油輸送機の1機目が来年2月下旬にも配備され、08年度末から同基地の新部隊がする

空中給油機 2月下旬にも小牧に配備 運用は08年度末から

「自民党をぶっ壊す」と言って登場しましたが、

ぶっ壊したのは国民生活

自民党の総裁選挙が9月20日に行われ、小泉氏に変わって新しい総裁が誕生します。国会での勢力から自民党総裁内閣総理大臣となりますが、それにしてもマスコミの騒ぎぶりは異常に写ります。後継者は、安倍晋三氏で決まりでしょうか、小泉政治の5年間とは何だったのか、職場で話し合ってみませんか。

職場で話しあってみよう！

ポスト小泉はいずれも 悪政の張本人

壊したのは「国民の生活」でした。非正規労働者の増大が「格差」拡大の大きな原因ですが、この5年間に正規労働者が300万人減少し、非正規が300万人増えました。全労働者の3分の1、若者の半分以上が非正規です。年金・医療制度の大改悪、そしてこの6月に大問題となった住民税の増税

り。一方では、毎年の靖国神社参拝強行で、中国、韓国などアジア近隣諸国との関係は最悪。このことが日本の経済にも大きな影響を及ぼす懸念

が高まっています。ポスト小泉でさらなる悪政が

では「ポスト小泉」後継者はどうでしょうか。候補者3人はいずれも小泉内閣の重要閣僚で小泉政治を進めてきた張本人です。とりわけ当確と言われている安倍氏は、小泉氏以上に「親米タカ派」の政治家です。総裁選出馬にあたり、早くも改憲をうちだしています。この政治の流れを、国民共同の運動で転換しましょう。（克）

読まれる待たれる 第11回あいち機関紙宣伝学校

と き	10月28日(土)13:30~ 10月29日(日)10:00~
と ころ	労働会館本館2F会議室
参加費	300円
弁当	1,000円(2日目)
■内容	1日目 記念講演など 2日目 実践講座 ①新聞づくり初任者 ②ピラづくり ③デジタルカメラ基礎 ④パソコンで新聞づくり/基礎 ⑤ " /ステップアップ



ピケを張った8月8日のスト

たたかう仲間たち NO.23

JMIUユータック分会への組合敵視・差別 団交開催求めたストに対し 不当解雇攻撃

JMIU愛知支部ユータック分会 分会長 黒田 忠

きない」と交渉せず退席。6月9日の団交では着席もせず退席してしまいました。しかし、会社は4月

張して団交に応じない姿勢を取り続けています。組合側はこの問題を春闘要求とともに提出しました。しかし、会社は4月

から6月までの6回の団交で他の要求では交渉に応じましたが、4月15日に主な議題が配転問題になった時、組合員が14名出席したことで「人数が多い、恐くて交渉で

ことが明らかにされました。配備後はF15など戦闘機への給油のため、戦闘機の訓練に伴う発着が中心となる見通しで、空飛ぶガソリンスタンドが上空を飛び回ることになります。

安全衛生

疲れてませんか… 10月は労働衛生週間

組合機関紙を見ていると、現役の仲間の訃報が載るときがあります。写真を

ます。平成10年以来、毎年3万人を超える自殺による

間を活用しましょう。

06秋季年末闘争の主な日程

- 組織拡大交流会
9月16日(土)13:30～17日(日)正午
野間「やまに旅館」
- 憲法・教育基本法改悪反対県民集会
9月20日(水)18:30～
栄広場 (中区・三越前)
- 革新県政の会総会
9月23日(祝)13:30～
労働会館東館ホール
- 愛労連青年協ソフトボール大会
9月23日(祝)9:00～
名古屋港木場南広場
- 職場からの社保運動推進連続学習講座
9月30日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、
12月16日(土)いずれも13:30～
労働会館本館
- 第8回あい・ち高齢者大会
10月1日(日)10:00～
名古屋市公会堂
- 全国学習交流集会in神奈川
10月7日(土)～9日(月・祝)
神奈川県三浦市・横須賀市
- 安全・安心の公共サービスシンポジウム
10月15日(日) 13:30～
名証ホール (名古屋証券取引所内)
- 増税反対・最低保障年金制度実現座り込み
10月16日(月)13:30～
栄広場 (中区・三越前)
- 第11回パート 臨時の元気が出る集会
10月22日(日)10:30～15:00
めいきん生協生活文化会館 (本山)
- 第11回あい・ち機関紙宣伝学校
10月28日13:30～ 29日10:00～
いずれも労働会館本館
- 福祉予算削るな! 愛知県民集会
10月29日(日)10:30～
白川公園 (名古屋市中区)
- 憲法9条を守ろうあい・ち県民のつどい
11月3日(祝)13:00～
名古屋市公会堂大ホール
- 秋の地域統一行動
11月13日(月)～19日(日)
いっせい宣伝行動は11月15日(水)
- 教育基本法改悪反対県民集会
11月18日(土)
名古屋港湾会館大ホール
- 小牧平和集会
11月19日(日)
市之久田公園 (小牧市)
- 愛知de雇用祭
11月23日(祝)
栄広場 (中区・三越前)
- トヨタシンポジウム
11月26日(日)
農業改善センター (豊田市内)
- 2007年国民春闘討論集会
12月2日(土)13:30～3日(日)正午
労働者研修センター (サンパレア瀬戸)

憲法・教育基本法改悪反対 安全安心の公共サービスを守ろう

愛労連秋季年末闘争方針ダイジェスト版

愛労連は9月2日第1回評議員会を労働会館において開催。討論では11人がこの秋から年末にかけてのたたかいを具体化した秋季年末闘争方針を補強する立場で発言し、方針を全員一致で採択しました。また、6名の委員から構成される選挙管理委員会を設置しました。

(1) 秋の組織拡大月間の成功にむけて

① 拡大目標を加入で4%・2100人、純増で2%・1050人とする。

② 単組・支部まで参加する組合員拡大運動を迫及する。困っている家族や友人に愛労連を紹介できるように各単産・地域の機関紙などに労働相談などの広告掲載、大量宣伝活動、HPの充実など。

③ 組織拡大交流会を9月16日(土)に開催する。内容は医労連および建交労をはじめ単産の実践報告を中心に。

④ パート・臨時の組織化と並行して組織の活性化をめざして、10月22日に第11回パート臨時の元気が出る集会を開催。事前にパート・臨時労働者実態調査を実施。

(2) 公務員賃金闘争・一時金闘争

① 9月13日(水)午後1時30分より愛知県人事委員会に愛労連や公務共闘などで要請。

② 公務員賃金・一時金闘争の官民一体の決起集会は10月下旬に計画。

③ 07春闘討論集会を12月2日から3日に開催する。

(3) 労基法遵守、働くルール確立のたたかい

① 高校卒業生に最低限の働くルールを学ぶ場を設けるよう10月に校長会に要請。青年の雇用確保や非正規労働者の労働条件改善めざして開かれる「愛知de雇用祭」(11月23日)の成功をめざす。

② 労働契約法制反対ですでに実施している団体署名を広げる。(9/15第一次集約、10/15第二次集約)

③ 11月を「すべての労働者に労働基準法の遵守を」キャンペーン月間とし、宣伝や申し入れ活動を展開。

④ トヨタシンポジウムを11月26日(日)に開催。

⑤ JMIU・ユータック分会での不当解雇事件で地裁宛団体署名、仮処分申請第1回審尋(9月21日)に多くの傍聴を。

(4) 臨時国会、憲法・教育基本法改悪阻止等

① 臨時国会では「新内閣」のもとで憲法・教育基本法改悪阻止のたたかいが大きな焦点になる。宣伝・署名の強化のために、9月27日と10月25日を統一宣伝日とし、各地域で最低1か所以上で宣伝行動をおこなう。単産からの積極的な参加を追求する。

② 安全・安心の公共サービスシンポジウムを10月15日(日)に開催し成功させる。

③ 11月を「すべての労働者に労働基準法の遵守を」キャンペーン月間とし、宣伝や申し入れ活動を展開。

る。住民税や国保税の減免、就学援助、年金・水道料金など各種減免、要介護者の障害者認定など住民に役に立つお知らせをつくり、職場から地域に出て公共サービスをまもる運動をひろげる。全労連が作成した「もうひとつの日本を」(ビデオ、DVD)を普及する。

② 地域ごとにある革新県政の会の活動を再開するたため、新婦人や民商などとの相談を急ぐ。

③ 各種会議・集会で県政の会が作成したビデオ・DVDを活用して県政の現状を知らせる。また地域の会などで県政ウォッチングなどもとりくむ。

③ 大増税反対・社会保障を守るとりくみでは、大増税反対ネットが行う、憲法・増税に関わる学習会(10月5日)への参加を強める。介護・医療・福祉など社会保障の充実をめざす自治体キャラバンについては10月17日から20日。昨年を上回る地域での事前学習会も成功させる。

① 臨時国会では「新内閣」のもとで憲法・教育基本法改悪阻止のたたかいが大きな焦点になる。宣伝・署名の強化のために、9月27日と10月25日を統一宣伝日とし、各地域で最低1か所以上で宣伝行動をおこなう。単産からの積極的な参加を追求する。

(5) その他日程等

その他9月・年末までのおもな日程は左記の日程表を参照。

(6) 県民主人公の県政をめざすたたかい

① 9月23日に開催される革新県政の会の総会を成功

ので、早朝宣伝のチラシは労基法遵守と憲法・教育基本法の課題で作成。改憲反対の住民署名の過半数を展望して、地域、団地などエリアを決めて署名用紙を配布し、回収する行動を行う。地域労連では加盟組合の他、地域の諸団体とも協議し地域を割り振り、とりくみを計画する。

愛労連では、ドアノブにかけて回収できるような署名グッズを作成。また団地などで回収を行う際の宣伝テ

(7) 秋の地域総行動について

① これまで、年2回の地域総行動をおこなってきたが、地域によっては、平日に集中して行動が組めない地域もでてくる。そのため、この秋は「秋の統一行動」として宣伝行動を軸とした地域行動として提起する。時期は11月13日(月)～11月19日(日)の1週間と設定し、駅頭でのいっせい宣伝行動を15日(水)を軸におこなう。

② 具体的にとりくみ
11月を労働基準法遵守キャンペーン月間として、大きくアピールする。また臨時国会の最大の焦点は教育基本法・国民投票法となる

ので、早朝宣伝のチラシは労基法遵守と憲法・教育基本法の課題で作成。改憲反対の住民署名の過半数を展望して、地域、団地などエリアを決めて署名用紙を配布し、回収する行動を行う。地域労連では加盟組合の他、地域の諸団体とも協議し地域を割り振り、とりくみを計画する。



人物紹介

自分たちで創る楽しさ実感

全印総連青年部が全国フェスタ in 洞爺湖を開催



洞爺湖での3日間を満喫した参加者

全印総連青年部は去る7月15(土)～17日(日)にかけ北海道洞爺湖で第48回全国フェスタを開催しました。3日間を通じて札幌、東京、愛知、京都、大阪から約50人が参加し、バラエティーに富んだ各種企画を実施し、フェスタを通じて青年部活動へのモチベーションを高めることができた。

2日目には洞爺湖周辺を舞台としたオリエンテーリングで身体と頭を使い、夕食はジンギスカンで交流しました。その夜、初日に作成したオリジナルキャンドルを囲み幻想的な気分を味わうことができました。

最終日には参加者全員で陶器作り体験をし、あっと言う間の3日間を終了しました。

全国フェスタは担当地連の実行委員だけでなく、全国の仲間全員が参加する「全員参加型」を目指して毎年とりくんでいます。また、組合活動の難しさ、楽しさを知る最適な機会と考えています。

通年の青年部活動の結節点であるフェスタの意義・目的を再確認し、当日だけのイベントで終わらないようにと考え、今後更なるとりくみを強めていきたいと思っています。

(全印総連・渡辺)

